

## 1. 教育計画

地域・在宅看護論

分野	専門分野 地域・在宅看護論	科目名	暮らしと願いに寄り添う看護プランニング
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	2 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	法人講師 渋谷 常美 (2時間) 専任教員 藤原 智亜紀 (12 時間)		
講師の実務経験	藤原：看護師として他病院に 16 年、星総合病院に 2 年		
学習目標	1. 在宅で療養する人々を支える看護の考え方を理解し、必要なケアの抽出をする方法を学ぶことができる 2. 在宅ケアチームの中の看護の在り方を意識し、多職種連携の方法をイメージできる 3. ケアマネジャーの役割とケアプラン作成について理解する		
成績評価方法	筆記試験・提出課題 出席状況・授業態度・提出物の期限厳守等も評価に含む		
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 地域・在宅看護論【1】地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論【2】地域・在宅看護の実践		
参考文献	資料は随時配布する		
履修上の留意	「在宅で療養する人々を支える実習」に直結する看護過程の大切な講義です。実習を有意義にするために、集中して学びましょう。		
講師からのメッセージ	オレムのセルフケア理論を基にした、看護展開を演習しながら学びます。ヘンダーソンとは違う視点で対象と家族について捉えることで、看護の視野を広げましょう。		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	在宅看護過程の特徴 セルフケア理論	在宅看護過程の特徴 オレムのセルフケア理論とは なぜセルフケア理論を用いるか？	講義	藤原
2	2	暮らしの中の看護の 情報	情報収集の意義 在宅看護の情報収集の特徴 暮らしの中の看護の情報を捉える視点	講義 演習	//
3	2	包括的アセスメント の考え方をトレーニ ングしよう！	情報を元に、包括的アセスメントを行う ケアチームと看護の連携、ケアチームの方向性の確認とは？	講義 演習	//

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
4	2	必要な看護を抽出する	セルフケア理論を用いた看護のアセスメントの方法（1） 事例を使って、アセスメントを体験しましょう！	講義 演習	〃
4	2	必要な看護を抽出する	セルフケア理論を用いた看護のアセスメントの方法（2） 事例を使って、アセスメントを体験しましょう！	講義 演習	
5	2	看護の専門性を活かした実践計画を考える	看護の専門性を発揮し暮らしを支える看護プランを考えよう！ 在宅ケアチームの連携方法を考えよう！	講義 演習	〃
6	2	地域・在宅看護の特徴	在宅で出会う看護倫理の問題 在宅看護の時期的な特徴 コンテキストで看護する	講義	〃
7	2	ケアマネジャーの活動	居宅介護支援事業所とは ケアマネジャーの役割 ケアマネジャーの活動の実際 多職種連携の実際	講義	渋谷
8	2	評価	筆記試験		